

活 動 報 告

日本語・日本事情

日本語初級・中級・上級の授業

浮田三郎

1989年度の日本語の授業は、前回報告した前年度のものと同様であるが、1989年10月に広島大学教育学部が西条町に移転したので、日本語教育の中心は西条キャンパスに移ったことになる。しかし、今だに広島大学が統合移転の過渡期にあるため、日本語の授業は千田キャンパスと西条キャンパスの二つの地区で行われなければならないのである。しかも、教養課程の学生は千田キャンパスで学んでおり、教養課程の日本語の授業はほとんどそちらで行われなければならない。そのため、体系的統一的に充実した日本語の授業を行うためのスタッフの確保は、依然として問題である。ただ、教室使用の問題は、現在のところほぼ解消されている状態である。

年々、広島大学の外国人留学生の数は、大幅に伸びており、大いに充実した授業形態が考えられなければならないであろう。ちなみに、外国人留学生の数は、1988年5月現在で329人であったものが1989年5月現在では369人さらに11月現在では443人に上っている。したがって、数年後に広島大学の統合移転が完了した時のことも考えて、体系的にも統一的にも充実した日本語・日本事情のカリキュラムと授業形態を構想しているところである。

1988年度から1989年度にかけての日本語・日本事情の活動は、前述した教育学部の西条移転に大いに影響されている。即ち、移転に際しての種々の移転作業を余義なくされたことや、千田、西条の両キャンパスでの充実した授業を行うための非常勤講師等の配置替えなどの調整、さらに教員研修留学生のための日本語集中授業の新しい試みと様々な試行錯誤が要求されたのである。そんな中で、正規の授業、種々の研究留学生のための補習授業、教員研修留学生のための集中授業などの種々の日本語・日本事情の授業、日本語・日本文化に関わるプログラムを行ってきた。そこで、ここでは、日本語・日本事情の授業に関わる活動を中心に、以下に1988年度と1989年度のカリキュラムと授業内容を学生便覧から抜粋してみる。授業内容も年々小さな変化はあるが、それほど大きな変化はないので、授業内容は、今回は1989年度の授業内容だけを挙げるにとどめる。そして、この表(表2)の備考欄を見るだけでも、西条移転のための苦労が分かるであろう。

表1 日本語・日本事情授業科目

日本語・日本事情授業科目(1988)

| 授業科目 | 開設単位数 | 学期別週授業時数 | | 備考 |
|---------|-------|----------|----|---|
| | | 前期 | 後期 | |
| ◎日本語初級Ⅰ | 1 | 2 | 2 | 広島大学外国人留学生のための授業である。 日本語初級Ⅰから日本語初級Ⅳまでは前期又は後期で受講。 ◎印の授業は西条キャンパスでも開講。 |
| ◎日本語初級Ⅱ | 1 | 2 | 2 | |
| 日本語初級Ⅲ | 1 | 2 | 2 | |
| 日本語初級Ⅳ | 1 | 2 | 2 | |
| ◎日本語中級Ⅰ | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本語中級Ⅱ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅲ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅳ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅴ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅵ | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本語上級Ⅰ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語上級Ⅱ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語上級Ⅲ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語上級Ⅳ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語上級Ⅴ | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本事情Ⅰ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本事情Ⅱ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本事情Ⅲ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本事情Ⅳ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本文化 | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語初級特講 | 12 | | 12 | |
| 日本語中級特講 | 8 | 8 | | |

日本語・日本事情授業科目(1989)

| 授業科目 | 開設単位数 | 学期別週授業時数 | | 備考 |
|-----------|-------|----------|----|--|
| | | 前期 | 後期 | |
| ◎日本語初級Ⅰ | 1 | 2 | 2 | 広島大学外国人留学生のための授業である。 日本語初級Ⅰから日本語初級Ⅳまでは前期又は後期で受講。 前期は東千田地区、後期は西条地区で開講。 ただし、◎印の授業は東千田、西条の両地で開講。 |
| ◎日本語初級Ⅱ | 1 | 2 | 2 | |
| 日本語初級Ⅲ | 1 | 2 | 2 | |
| 日本語初級Ⅳ | 1 | 2 | 2 | |
| ◎日本語中級Ⅰ-1 | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅰ-2 | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本語中級Ⅱ | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本語中級Ⅲ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅳ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅴ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語中級Ⅵ | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本語上級Ⅰ | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本語上級Ⅱ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語上級Ⅲ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語上級Ⅳ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語上級Ⅴ | 2 | 2 | 2 | |
| ◎日本事情Ⅰ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本事情Ⅱ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本事情Ⅲ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本事情Ⅳ | 2 | 2 | 2 | |
| 日本文化 | 2 | 2 | 2 | |
| 日本語特講 | 15 | | 30 | |
| 日本語中級特講 | 8 | 8 | | |

表2 日本語・日本事情授業内容

日本語・日本事情(1989)

| 授業科目 | 単位数 | 担当教官 | 授業内容 | 学期 | 備考 |
|--------|-----|-------------|--------------------------------------|----|---------|
| 日本語初級Ⅰ | 1 | 長友 | 日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に発音・文字・基本文型を教える。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語初級Ⅰ | 1 | 小野 (非常勤) | 同 | 前 | 西条キャンパス |
| | | 内藤 (非常勤) | | 後 | 千田キャンパス |

| 授業科目 | 単位数 | 担当教官 | 授業内容 | 学期 | 備考 |
|----------|-----|--------------|--|----|---------|
| 日本語初級Ⅱ | 1 | 未定 | 日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に問題演習を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語初級Ⅱ | | 渡部 | 同 上 | 前 | 西条キャンパス |
| | | | | 後 | 千田キャンパス |
| 日本語初級Ⅲ | 1 | 岡崎 | 日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に、読解指導を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語初級Ⅳ | 1 | 未定 | 日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に、聴解、会話演習を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | | 西条キャンパス |
| 日本語中級Ⅰ-1 | 2 | 多和田 | 日本語初級を終わった程度の学習者に、読解・文法指導を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | 田畑 (非常勤) | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語中級Ⅰ-1 | 2 | 田畑 (非常勤) | 同 上 | 前 | 西条キャンパス |
| | | 小林 (非常勤) | | 後 | 千田キャンパス |
| 日本語中級Ⅰ-2 | 2 | 未定 | 日本語初級を終わった程度の学習者に、読解・文法指導を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語中級Ⅱ | 2 | 小林 (非常勤) | 日本語初級を終わった程度の学習者に、作文・会話の指導を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | 大槻 (非常勤) | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語中級Ⅱ | 2 | 渡部 (非常勤) | 同 上 | 前 | 西条キャンパス |
| | | | | 後 | 千田キャンパス |
| 日本語中級Ⅲ | 2 | カッケン ブッシュ | 日本語初級を終わった程度の学習者に、小説・随筆などの講読の指導を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語中級Ⅲ | | 大槻 (非常勤) | 同 上 | 前 | 西条キャンパス |
| | | 古浦 (非常勤) | | 後 | 千田キャンパス |
| 日本語中級Ⅳ | 2 | 古浦 (非常勤) | 日本語中級Ⅰ～Ⅲを終わった程度の学習者に読解・文法・口頭表現(会話)・文章表現(作文)を教える。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | 多和田 | | 後 | 西条キャンパス |

| 授業科目 | 単位数 | 担当教官 | 授業内容 | 学期 | 備考 |
|--------|-----|--------------------------------|--|----|---------|
| 日本語中級Ⅴ | 2 | 沼本 | 日本語中級Ⅰ～Ⅲを終った程度の学習者に、漢字の使い方・発音・漢語の体系などを教える。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語中級Ⅵ | 2 | 位藤 (非常勤) 田畑 (非常勤) | 日本語中級Ⅰ～Ⅲを終った程度の学習者に小説などの読解指導を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語上級Ⅰ | 2 | 未定 | 読解・スピーチ・聞き取り・上級文法・作文を指導する。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語上級Ⅰ | 2 | 大槻 (非常勤) 深見 | 同 上 | 前 | 西条キャンパス |
| | | | | 後 | 千田キャンパス |
| 日本語上級Ⅱ | 2 | 未定 | 日本文学を題材として、日本語の語彙・構文・表現・発想の特徴を追求し、あわせて日本文化の構造と特色を検討する。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語上級Ⅱ | 2 | 田畑 (非常勤) 小林 (非常勤) | 読解・スピーチ・聞き取り・上級文法を教える。 | 前 | 西条キャンパス |
| | | | | 後 | 千田キャンパス |
| 日本語上級Ⅲ | 2 | 木坂 | 作文・読解を柱にした、課題別総合指導を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語上級Ⅳ | 2 | 小林 (非常勤) 大槻 (非常勤) | 読解・スピーチ・聞き取り・上級文法を教える。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語上級Ⅴ | 2 | 浮田 | 漢字の知識のある学習者を対象に統解・作文を中心に日本語の表現現法の指導を行い、日本文化について講義・討論を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本事情Ⅰ | 2 | 水町 | 文字・音声・映像を通して日本の社会・文化生活様式の理解をはかり、学習者の自国の事情との比較にもとづく討論を行う。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本事情Ⅰ | 2 | 大槻 (非常勤) 位藤 | 日本の文化及び習慣等について考察する。 | 前 | 西条キャンパス |
| | | | | 後 | 千田キャンパス |
| 日本事情Ⅱ | 2 | 奥田(久) (非常勤) | 日本の文化及び習慣等について考察する。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |

| 授業科目 | 単位数 | 担当教官 | 授業内容 | 学期 | 備考 |
|-------------|-----|--|--|----|------------------|
| 日本事情Ⅲ | 2 | 上原 | 日本人の思考様式を、異文化間コミュニケーション的視点により講義・討論する。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | 未定 | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本事情Ⅳ | 2 | 相原 | 日本文学を題材として、日本人の発想の特徴や日本文化の構造と特色を講義・討論する。 | 前 | 千田キャンパス |
| | | | | 後 | 西条キャンパス |
| 日本語特講 | 15 | 浮田 多和田 長友 深見 奥田(久) (非常勤) 渡部 (非常勤) 大槻 (非常勤) 小野 (非常勤) | 日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・会話・作文の初歩を集中的に教える。 | 後 | 教員研修留学生のためのプログラム |
| 日本語中級特講 | 8 | 浮田 上原 多和田 長友 深見 縫部 奥田(久) (非常勤) 内藤 (非常勤) | 初級特講を終った程度の学生に読解・文法・会話・作文を集中的に教える。 | 前 | |
| 日本語 日本文化 | | 未定 | 日本語・日本文化研修留学生を対象に、日本文化のさまざまな側面について、より深い知識と理解を得させる。 なお、講義に合わせて随時実地研修も行う。 | 前 | |
| | | | | 後 | |

日本語日本文化研修プログラム

深見兼孝

広島大学では、昭和60年度より日本語日本文化研修留学生を受け入れているが、昭和62年度より特別経費の交付を受け、「日本語日本文化研修プログラム」を開始し、現在に至っている¹⁾。昭和63年度後期および平成元年度前期のプログラムの概要は、次の通りである。

昭和63年度後期

| | | | | |
|-----------|--------------|----------|-------|--|
| 10月19日(火) | オリエンテーション | | | |
| 10月24日(月) | 講義 日本経済 | 法学部教授 | 高橋 衛 | |
| 10月29日(土) | | | | |
| | 見学 神楽 | | | |
| 10月30日(日) | | | | |
| 11月7日(月) | 講義 日本財政 | 経済学部教授 | 菅 壽一 | |
| 11月11日(金) | 見学 宮島 | | | |
| 11月15日(火) | 講義 日本宗教 | 総合科学部助教授 | 佐竹 昭 | |
| 11月21日(月) | 講義 日本金融 | 経済学部助教授 | 北岡 孝義 | |
| 11月25日(金) | 見学 マツダ | | | |
| 12月13日(火) | 講義 日本史Ⅰ(古代) | 文学部教授 | 坂本 賞三 | |
| 12月19日(月) | 講義 日本国憲法 | 法学部教授 | 畑 博行 | |
| 12月21日(水) | | | | |
| | 見学 京都市・奈良市 | | | |
| 12月23日(金) | | | | |
| 1月9日(月) | 講義 日本政治 | 法学部教授 | 今中比呂志 | |
| 1月17日(火) | 講義 日本史Ⅱ(中世) | 文学部助教授 | 岸田 裕之 | |
| 1月18日(水) | 見学 広島県庁 | | | |
| 1月23日(月) | 講義 日本国政と地方自治 | 法学部教授 | 村上 武則 | |
| 1月25日(水) | 見学 第一術科学学校 | | | |
| 1月27日(金) | 見学 尾道市 | | | |
| 2月1日(水) | 見学 キリンビール工場 | | | |

| | | | |
|------------|-------|---------|-------|
| 2月7日(火)講義 | 日本の建築 | 工学部教授 | 鈴木 充 |
| 2月15日(水)見学 | 筆作り工場 | | |
| 2月21日(火)講義 | 日本の美術 | 総合科学部教授 | 金田 晋 |
| 2月22日(水)見学 | 広島刑務所 | | |
| 2月27日(月)講義 | 日本の司法 | 法学部教授 | 筑間 正泰 |
| 3月1日(水) | | | |
|) | スキー旅行 | | |
| 3月3日(金) | | | |

平成元年度前期

| | | | |
|-------------|----------|----------|-------|
| 4月28日(金)見学 | 広島市郷土資料館 | | |
| 5月8日(月)講義 | 能の精神世界 | 総合科学部講師 | 青木 孝夫 |
| 5月12日(金)見学 | 窯元 | | |
| 5月26日(金)見学 | 錦帯橋・岩国城 | | |
| 6月2日(金)実習 | 華道 | 山田 芳子 | |
| 6月9日(金)実習 | 茶道 | 陣崎美知子 | |
| 6月12日(月)講義 | 利休の思想 | 桑原 孝子 | |
| 6月14日(水)講義 | 日本史Ⅲ(近世) | 文学部教授 | 有元 正雄 |
| 6月16日(金)実習 | 書道 | 学校教育学部教授 | 森井 一幸 |
| 6月30日(金) | | | |
|) | 似島キャンプ | | |
| 7月2日(日) | | | |
| 7月14日(金)実習 | 和算 | 徳永 博旦 | |
| 9月8日(金)講義 | 日本の司法 | 法学部教授 | 筑間 正泰 |
| 9月25日(月)修了式 | | | |

昭和63年度後期は日本の政治・経済・法律面に、平成元年度前期は日本の芸能面に重点を置いてプログラムを組み立てた。また、宿泊プログラムもこれより2本増やし、全体としてかなり内容の多いプログラムになっている。しかし、学生の側からみて実りが多かったかという点全体として悲観的である。昭和64年が明けてから、講義・見学への参加者が減り、そのまま平成元年度前期のプログラムが終了してしまった。修了式の後学生にプログラムに対する意見を聞いたが、参加しなくなった学生にとってその原因は明白であった。すなわち、講義・見学の内容が自身の関心に合わないか、仮にあっても短い時間内で必要な知識を身につけるの無理だと思ったと言うの

である。平成元年度後期は、このような意見を参考にプログラムの立案の段階からこれまでのやり方を改めた。これについての報告は「留学生日本語教育」の次号に回したい。

注1 昭和62年度から昭和63年度前期までのプログラムについては、「留学生日本語教育」1号を見られたい。また、昭和60年度以降の広島大学における日本語日本文化研修留学生は、以下の通りである。

昭和60年度

| 国 籍 | 氏 年 月 名 日 | 性別 | 研 修 分 野 | 指 導 教 官 |
|----------|---|----|------------|------------------|
| オーストラリア | Rowena Gai Ward 1965. 4. 12. | 女 | 日本語 | 教育学部 教授 奥田 邦男 |
| 大韓民国 | Chai, Sook-in (蔡淑仁) 1964. 2. 20 | 女 | 日本中世文学 | 文学部 助教授 位藤 邦生 |
| イギリス | Forrest, Stephan Michael 1964. 1. 2 | 男 | 日本語・日本近代文学 | 文学部 助教授 位藤 邦生 |
| イギリス | Helen Sian Elizabeth Parker 1963. 12. 2. | 女 | 日本語・日本文化 | 教育学部 教授 奥田 邦男 |
| 中 国 | Han, Xue (韓雪) 1962. 10. 5. | 女 | 日本語・日本文化 | 教育学部 教授 奥田 邦男 |
| ニュージーランド | Carolyn Ann Shaw 1965. 7. 21. | 女 | 日本語 | 教育学部 教授 奥田 邦男 |

昭和61年度

| 国 籍 | 氏 年 月 名 日 | 性別 | 研 修 分 野 | 指 導 教 官 |
|---------|---|----|----------|---------------------|
| カナダ | Stovel, Jeanette Adele 1963. 7. 4. | 女 | 日本語 | 文学部 助教授 位藤 邦生 |
| フランス | Savajols, Sylvie 1964. 4. 20. | 女 | 日本経済 | 経済学部 教 授 高橋 衛 |
| アメリカ合衆国 | Pflueger, Christopher Timothy 1965. 8. 2. | 男 | 日本古典文学 | 文学部 助教授 位藤 邦生 |
| イギリス | Green, Hilary Jeanne 1966. 6. 26. | 女 | 日本語 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |
| イギリス | Clare, Anne Margaret 1965. 3. 11. | 女 | 日本社会 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |
| 中 国 | Zhang, Ming Ming(張明明) 1960. 8. 13. | 女 | 日本語教育 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |
| タ イ | Ruthiraporn, Weerawan 1957. 9. 17. | 女 | 日本語教育 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |
| イギリス | Bernet, Nicholas James 1964. 9. 4. | 男 | 日本語・日本文化 | 教育学部 助教授 浮田 三郎 |
| 西ドイツ | Jansen, Ute 1962. 11. 12. | 女 | 日本語・日本文化 | 教育学部 助教授 浮田 三郎 |
| 中 国 | Xue, Jiang (薛疆) 1960. 3. 21 | 男 | 日本語・日本文化 | 学校教育学部 助教授 佐々木 峻 |

昭和 62 年度

| 国 籍 | 氏 生 年 月 名 日 | 性別 | 研 修 分 野 | 指 導 教 官 |
|---------|---|----|-------------------|-------------------|
| タ イ | Manusweterasun, Somsong 1966. 6. 29. | 女 | 日本語 | 教育学部 教 授 齊藤 稔 |
| タ イ | Chantimabha, Vanvipa 1967. 5. 18. | 女 | 日本語 | 教育学部 教 授 細田 和雅 |
| タ イ | Savigamin, Pieangpenpit 1965. 10. 15. | 女 | 日本語 | 教育学部 助教授 岡崎 敏雄 |
| インドネシア | Endang Christijani Kartika Wahjuni 1965. 5. 15. | 女 | 日本文化 (日本の教育) | 教育学部 教 授 三好 信浩 |
| インドネシア | Iwan Gunawan 1964. 4. 14. | 男 | 日本語教育・意味論 | 教育学部 教 授 木坂 基 |
| フィリピン | Tan, Antonio 1960. 3. 23. | 男 | 日本学 (言語・文学・歴史) | 教育学部 助教授 縫部 義憲 |
| 中 国 | Zhang, Ying (張穎) 1961. 12. 14. | 女 | 日本語・日本文化 | 教育学部 教 授 相原 和邦 |
| 中 国 | Li, Ping (李萍) 1962. 12. 2. | 女 | 日本語・日本文学 | 教育学部 助教授 沼本 克明 |
| 大韓民国 | Kang, Suk (姜淑) 1968. 1. 3. | 女 | 日本語・日本文学・ 日本文化 | 教育学部 助教授 沼本 克明 |
| オーストラリア | Lidgard, Lisa Ann 1966. 4. 23. | 女 | 現代日本文学 | 教育学部 教 授 相原 和邦 |
| フランス | David, Sophie Marie -Agnes 1963. 3. 21. | 女 | 日本文学(幼児教育) | 教育学部 教 授 森 橋 |
| イギリス | Evans, Catherine Jane 1965. 11. 2. | 女 | 日本語 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |
| イギリス | McMahon, Anna Kathèrin 1966. 7. 31. | 女 | 日本語 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |

昭和63年度

| 国 籍 | 氏 名 生 年 月 日 | 性別 | 研 修 分 野 | 指 導 教 官 |
|---------|---|----|-----------|---------------------------------|
| タ イ | Chinvgai, Wanna 1966. 2. 6. | 女 | 日本語(日本文化) | 教育学部 助教授 浮田 三郎 |
| タ イ | Tae, Namthip 1967. 5. 19. | 女 | 日本語(日本文化) | 教育学部 助教授 長友 和彦 |
| インドネシア | Yuyun Rosliyah 1966. 8. 9 | 女 | 日本語教授法 | 教育学部 助教授 縫部 義憲 |
| 大韓民国 | Choi, Jin Sun (崔鎮善) 1967. 2. 20. | 女 | 日本文学 | 教育学部 教 授 相原 和邦 |
| 大韓民国 | Lee, Suk Young (李淑暎) 1968. 7. 2. | 女 | 日本文学 | 教育学部 教 授 相原 和邦 |
| 中 国 | Wang, Zhi Song (王志松) 1962. 6. 29. | 男 | 日本近代文学 | 教育学部 教 授 相原 和邦 |
| 中 国 | Wang, Bao Shan (王宝山) 1958. 12. 9 | 男 | 日本語・日本文化 | 教育学部 教 授 沼本 克明 |
| 中 国 | He, Jia Rong (何家蓉) 1960. 1. 12. | 女 | 日本語・日本文化 | 教育学部 助教授 水町伊佐男 |
| アメリカ合衆国 | Lafiosca, David Dominick 1966. 3. 6. | 男 | 日本語 | 教育学部 教 授 細田 和雅 |
| アメリカ合衆国 | Wagner, Karla Lynne 1967. 10. 29. | 女 | 日本語・言語学 | 教育学部 教 授 細田 和雅 |
| アメリカ合衆国 | Kanada, Gary Nobuyuki 1966. 5. 27 | 男 | 日本語・日本文学 | 教育学部 教授 カッケンブッシュ 寛子 |
| ブラジル | Tashiro, Eliza Atsuko 1964. 3. 15. | 女 | 日本語 | 教育学部 教 授 木坂 基 |
| イギリス | Voss, Timothy Michael 1967. 6. 26. | 男 | 日本語 | 教育学部 助教授 岡崎 敏雄 |
| ベルギー | Jaspaert, Greta Clara 1966. 9. 14. | 女 | 日本語 | 教育学部 助教授 熊取谷哲夫 |
| オランダ | Helder, Elisabeth Maaïke 1967. 9. 14. | 女 | 日本語 | 教育学部 助教授 多和田真一郎 講 師 深見 兼孝 |
| フランス | Marie, Cecile Michelle 1961. 8. 24. | 女 | 日本語 | 教育学部 助教授 上原 麻子 |
| ス イ ス | Rusterholz, Andreas Heinrich 1964. 9. 9. | 男 | 日本語・日本文化 | 教育学部 教 授 斉藤 稔 |
| イギリス | Whalley, Claire Meriel 1966. 11. 27. | 女 | 日本語・日本文化 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |
| イギリス | Jones, Lindsay Sarah 1967. 8. 7. | 女 | 日本語・日本文化 | 教育学部 教 授 奥田 邦男 |

「教員研修留学生コース」

峯 正 志

第9期教員研修留学生コース活動報告(1988.10.-1990.3)

I 研修プログラム

A 教育学

- 1) 教育学, 心理学, 教科教育学に関する英語による講義演習。(1年)
- 2) 授業参観, 特別活動見学をはじめ, その他各種の教育施設, 社会教育施設の見学。(1年)
- 3) 課題研究-指導教官の下で, 各自の研修テーマを研修。(1年半)

B 日本文化, 日本事情(1年)

- 1) 日本文化, 社会に関する多方面からの英語による講義, 実習。
- 2) 文化活動に参加, 各種文化施設の見学。

C 日本語教育

- 1) 日本語初級特講。(6カ月)
- 2) 日本語中級特講。(6カ月)
- 3) 上記以外の日本語・日本事情のクラス。(学生の能力, 必要に応じて)

D 研修論文及びアブストラクトの作成。

II 研修プログラム内容

A 教育学

1) 講義・演習

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1988/10/27(木) | 「日本の教育制度」教育学部助教授 岡東尋隆 |
| 11/14(月) | 「日本の幼児教育」教育学部教授 祐宗省三 |
| 11/18(金) | 「日本の初・中等教育」教育学部教授 片岡徳雄 |
| 12/15(木) | 「各国の教育事情(1)」教育学部助教授 二宮 皓 |
| 12/16(金) | 「各国の教育事情(2)」教育学部助教授 二宮 皓 |
| 1989/1/9(月) | 「日本の教員養成」教育学部教授 吉田正晴 |
| 1/30(月) | 「日本の高等教育」西条共同研修センター講師 田畑佳則 |

2) 学校・教育施設見学

- | | |
|--------------|-----------|
| 1988/11/2(水) | 本川児童館 |
| 11/9(水) | 広島大学附属小学校 |

- 1988/11/15 (火) こども文化科学館
 11/19 (土) 広島大学附属幼稚園
 11/22 (火) 広島大学附属東雲中学校
 11/24 (木) 広島市中央公民館
 11/25 (金) 広島大学附属高等学校
 11/26 (土) 生物生産学部練習船 豊潮丸(呉中央栈橋)
 11/29 (火) 観音中学校夜間部
 12/ 6 (火) 広島市中央図書館
 12/ 8 (木) 海田朝鮮中・高級学校
 12/13 (火) 広島会計学院
 1989/ 1/12 (木) 海上保安大学校
 1/17 (火) 広島県教育委員会
 1/23 (月) 広島市教育センター
 1/26 (木) 広島県高等職業訓練校
 2/21 (火) 第一学習社
 4/10 (月) 広島大学附属高等学校入学式
 5/19 (金) 広島大学西条新キャンパス
 6/ 3 (土) 広島市立養護学校
 6/ 9 (金) 呉高等工業専門学校
 6/12 (月) 広島商船高等専門学校

B 日本文化・日本事情

1) 講義・演習

- 1 1988/11/ 7 (月) 「日本国憲法」法学部教授 畑 博行
 12/ 1 (木) 「茶道」陣崎美知子
 12/ 3 (土) 「華道」陣崎美知子
 12/19 (月) 「書道」森井一幸
 1989/ 1/19 (木) 「日本舞踊」行広雅子
 2/14 (火) 「コンピュータ実習(1)」教育学部教授 利島保
 2/16 (木) 「コンピュータ実習(2)」教育学部教授 利島保
 2/17 (金) 「コンピュータ実習(3)」教育学部教授 利島保
 2/18 (土) 「コンピュータ実習(4)」教育学部教授 利島保
 4/11 (火) 4/15 (土) 「ワードプロセッサ実習」
 教育学部助手 飯田史也
 6/ 6 (火) 「日本の経済」総合科学部助教授 川辺信雄

日付不明 「日本の美術」教育学部教授 齋藤稔

2) 見学

- 1988/10/21 (金) 平和記念公園
10/28 (金) 広島城・縮景園・広島市映像文化ライブラリー
11/11 (金) 宮島
11/28 (月) マツダ
1989/ 1/27 (金) - 1/28 (土) 尾道市
2/13 (月) NHK広島放送局
4/28 (金) 広島市郷土資料館
5/11 (木) 広島市現代美術館・医学部医学資料館
5/26 (金) 耕三寺・耕三寺博物館

C 日本語教育

1) 日本語初級特講(1988年10月～1989年2月。週15時間必修)

| | 9:30 - 10:20 | 10:40 - 12:20 |
|---|--------------|---------------|
| 月 | 深見 | 内藤 |
| 火 | 深見(L.L.) | 奥田 |
| 水 | 浮田 | 縫部 |
| 木 | 長友 | 多和田 |
| 金 | 深見 | 上原 |

日本語講師

- 浮田三郎 広島大学教育学部助教授
多和田真一郎 広島大学教育学部助教授
長友和彦 広島大学教育学部助教授
上原麻子 広島大学教育学部助教授
深見兼孝 広島大学教育学部講師
縫部義憲 広島大学教育学部助教授
奥田久子 広島修道大学教授
内藤祐子 広島女学院大学助教授

2) 日本語中級特講(1989年4月～1989年9月。週14時間の中から選択)

3) 上記以外の日本語・日本事情のクラス(1988年10月～1990年2月。能力と必要に応じて選択)

D その他

1989/ 2/ 8 (水) - 2/10 (金) スキー研修(大山)

3/ 1 (水) - 3/ 3 (金) 研修旅行(萩市・津和野町)

6/16 (金) - 6/18 (日) 青年国際セミナー(国立江田島青年の家)

7/ 1 (土) - 7/ 2 (日) 広島市青少年セミナー主催

青少年との国際交流「似島キャンプ」(日本語研修コース, 日本語・日本文化研修留学生と共に参加)

12/ 6 (水) - 12/ 7 (木) トヨタセミナー(豊田市)

第10期教員研修留学生コース中間報告(1989.10.-1990.3)

I 研修プログラム

A 教育学

- 1) 教育学, 心理学, 教科教育学に関する英語による講義演習。
- 2) 授業参観, 特別活動見学をはじめ, その他各種の教育施設, 社会教育の見学。

B 日本文化, 日本事情

- 1) 日本文化, 社会に関する多方面からの英語による講義, 実習
- 2) 文化活動に参加, 各種文化施設の見学。

C 日本語教育

- 1) 日本語特講(初級~中級)。(6カ月)

II 研修プログラム内容

A 教育学

1) 講義・演習

- 1989/11/ 2 (木) 「日本の教育制度」教育学部教授 青木薫
11/ 9 (木) 「日本の幼児教育」教育学部教授 祐宗省三
11/16 (木) 「日本の初等・中等教育」教育学部助教授 安原義仁
12/13 (水) 「各国の教育事情Ⅰ」教育学部助教授 二宮皓
12/14 (木) 「各国の教育事情Ⅱ」教育学部助教授 二宮皓
1990/ 1/ 9 (火) 「日本の教員養成」教育学部教授 吉田正晴
1/30 (火) 「日本の高等教育」西条共同研修センター講師 田畑佳則

2) 学校・教育施設見学

- 1989/10/20 (金) 広島市青少年センター
10/27 (金) 広島市映像文化ライブラリー
11/24 (金) 広島大学附属幼稚園・附属中学校・附属高等学校
12/ 8 (金) 広島市中央公民館・広島市立中央図書館
12/15 (金) 広島県教育委員会
1990/ 1/26 (金) 広島市教育センター

B 日本文化・日本事情

1) 講義・演習

- 1989/11/ 7 (火) 「日本国憲法」法学部教授 畑博行
12/ 2 (土) 「茶道」陣崎美知子
「華道」陣崎美知子

2) 見 学

1989/10/20 (金) 平和記念公園

10/27 (金) 広島城・縮景園

11/10 (金) 宮島

1990/ 2/ 3 (金) - 2/ 3 (土) 尾道市

C 日本語教育

1) 日本語特講(1989年10月～1990年2月)

| | 9:50 - 10:40 | 10:50 - 12:30 | 13:20 - 15:00 | 15:10 - 16:50 |
|---|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 月 | 深 見 | 渡 部 | 渡 部 | 深 見 |
| 火 | 小野(9:00-10:40) | 小 野 | 奥 田 | 多和田 |
| 水 | 浮 田 | 浮 田 | 大 槻 | 大 槻 |
| 木 | 深 見 | 浮 田 | 深 見 | 長 友 |
| 金 | 深 見 | 深 見 | 浮 田・深 見 | |

日本語講師

| | |
|---------|---------------|
| 浮 田 三 郎 | 広島大学教育学部助教授 |
| 多和田 眞一郎 | 広島大学教育学部助教授 |
| 長 友 和 彦 | 広島大学教育学部助教授 |
| 深 見 兼 孝 | 広島大学教育学部講師 |
| 大 槻 温 子 | 広島大学教育学部非常勤講師 |
| 奥 田 久 子 | 広島修道大学教授 |
| 小 野 由美子 | 広島中央女子短期大学講師 |
| 渡 部 浩 見 | 広島大学教育学部非常勤講師 |

D その他

1990/ 2/12 (月) - 2/14 (水) スキー研修(大山)

2/17 (土) - 2/18 (日) 国際交流活動研修会

(広島市似島臨界少年自然の家)

2/26 (月) - 2/28 (水) 研修旅行 (萩市・津和野町)

外国人留学生日本語研修コース

多和田 眞一郎

「成果報告」の表を示す。活動内容は、創刊号で述べたそれに準じる。

日本語研修コース（第六期）1988年度（四月～九月）成果報告

| 期 日 | 授 業 内 容 等 | 特 別 研 究 指 導 等 | 備 考 |
|-------------|-----------------------|----------------------------|------------------------|
| 4/12 | 開 講 式 オリエンテーション | | |
| 4/13 ~ 4/15 | 面接, 発音, ひらがな, 初歩文型 | | |
| 4/18 ~ 4/22 | L 1 ~ 3 | 4/22 原爆資料館・平和公園 | |
| 4/25 ~ 4/29 | L 4 ~ 6 | | 4/29 公休日 |
| 5/ 2 ~ 5/ 6 | L 7 | 5/ 6 映像文化ライブラリー 広島城・縮景園 | 5/3, 4 5 公休日 |
| 5/ 9 ~ 5/13 | L 8 ~ 10 | 5/13 宮島 | |
| 5/16 ~ 5/20 | L11 ~ 12 中間試験 | | |
| 5/23 ~ 5/27 | L13 ~ 15 | 5/27 錦帯橋・岩国城 | |
| 5/30 ~ 6/ 3 | L16 ~ 18 | | |
| 6/ 6 ~ 6/10 | L19 ~ 21 | 6/10 ガラスの里 | 「専門用語解説」開始 |
| 6/13 ~ 6/17 | L22 前半期末試験 | | |
| 6/20 ~ 6/24 | L23 ~ 24 | | |
| 6/27 ~ 7/ 1 | L25 ~ 26 | 7/ 1 尾道市 | |
| 7/ 4 ~ 7/ 8 | L27 ~ 28 | | |
| 7/11 ~ 7/15 | L29 ~ 30 中間試験 | | |
| 7/18 ~ 7/22 | L31 ~ 32 | | 合宿キャンプ（青少年セ ンターと合同） |
| 7/25 ~ 8/31 | 夏季休業 | | |
| 9/ 1 ~ 9/ 2 | L 33 | | |
| 9/ 5 ~ 9/ 9 | L33 ~ 34 | 9/ 9 NHK広島放送局 | |
| 9/12 ~ 9/16 | 特別講義 期末試験 | | |
| 9/19 | 特別講義 | | |
| 9/20 | 成果発表, 修了式 | | |

日本語研修コース（第八期）1989年度（四月～九月） 成果報告

| 期 日 | 授 業 内 容 等 | 特 別 研 究 指 導 等 | 備 考 |
|-------------|----------------------|-----------------------------|---------------------|
| 4/12 | 開 講 式 オリエンテーション | | |
| 4/13 ~ 4/14 | 面接, 発音, ひらがな 初歩文型 | | |
| 4/17 ~ 4/21 | L 1 ~ 3 | 4/21 原爆資料館・ 平和公園・青少年センター | |
| 4/24 ~ 4/28 | L 4 ~ 6 | 4/28 映像文化ライブラリ ー・広島城・縮景園 | |
| 5/ 1 ~ 5/ 5 | L 7 | | 5/3, 4, 5 公休日 |
| 5/ 8 ~ 5/12 | L 8 ~ 10 | 5/12 宮島 | |
| 5/15 ~ 5/19 | L11 ~ 13 中間試験 | | |
| 5/22 ~ 5/26 | L14 ~ 16 | 5/26 錦帯橋・岩国城 | |
| 5/29 ~ 6/ 2 | L17 ~ 19 | | |
| 6/ 5 ~ 6/ 9 | L20 ~ 21 | 6/ 9 ガラスの里 | |
| 6/12 ~ 6/16 | L22 前半期末試験 | | 6/15 「専門用語解説」開始 |
| 6/19 ~ 6/23 | L23 ~ 24 | | |
| 6/26 ~ 6/30 | L25 ~ 26 | | 6/30, 7/1,2 似島合宿 |
| 7/ 3 ~ 7/ 7 | L27 ~ 28 | | |
| 7/10 ~ 7/14 | L29 ~ 30 中間試験 | | |
| 7/17 ~ 7/21 | L31 ~ 32 | 7/21 尾道市 | |
| 7/24 ~ 8/31 | 夏季休業 | | |
| 9/ 1 | L33 | | |
| 9/ 4 ~ 9/ 8 | L33 ~ 34 | 9/ 8 NHK広島放送局 | |
| 9/11 ~ 9/15 | 特別講義 期末試験 | | |
| 9/18 | 特別講義 | | 9/15 公休日 |
| 9/19 | 成果発表, 修了式 | | |

日本語研修コース（第七期）1988年度 十月～三月 成果報告

| 期 日 | 授 業 内 容 等 | 特 別 研 究 指 導 等 | 備 考 |
|---------------|----------------------|------------------------------|------------------------|
| 10/11 | 開 講 式 オリエンテーション | | |
| 10/12 ~ 10/14 | 面接, 発音, ひらがな 初歩文型 | | |
| 10/17 ~ 10/21 | L 1 ~ 3 | 10/21 原爆資料館・平和公園・青少年センター | |
| 10/24 ~ 10/28 | L 4 ~ 6 | 10/28 映像文化ライブラリー・ 広島城・縮景園 | |
| 10/31 ~ 11/ 4 | L 7 ~ 8 | | 11/ 3 公休日 11/ 4 大学祭 |
| 11/ 7 ~ 11/11 | L 9 ~ 11 | 11/11 宮 島 | |
| 11/14 ~ 11/18 | L12 ~ 14 中間試験 | | |
| 11/21 ~ 11/25 | L15 ~ 17 | 11/25 マツダ | 11/23 公休日 11/27 青年祭 |
| 11/28 ~ 12/ 2 | L18 ~ 19 | | 「専門用語解説」開始 |
| 12/ 5 ~ 12/ 9 | L20 ~ 21 期末試験 | | |
| 12/12 ~ 12/16 | L22 ~ 23 | 12/16 錦帯橋・岩国城 | |
| 12/19 ~ 1/ 8 | 冬季休業 | | |
| 1/ 9 ~ 1/13 | L22 ~ 23 | | |
| 1/16 ~ 1/20 | L24 ~ 25 | 1/20 ガラスの里 | 1/16 公休日 |
| 1/23 ~ 1/27 | L26 ~ 27 | | 1/27, 28 加計町ホームステイ |
| 1/30 ~ 2/ 3 | L28 ~ 29 | | |
| 2/ 6 ~ 2/10 | L30 中間試験 | 2/10 尾道市 | 2/11 公休日 |
| 2/13 ~ 2/17 | L31 ~ 32 | | |
| 2/20 ~ 2/24 | L32 ~ 33 | 2/24 NHK広島放送局 | |
| 2/27 ~ 3/ 3 | L34 期末試験 特別講義 | | |
| 3/ 6 ~ 3/ 9 | 特別講義 | | |
| 3/10 | 成果発表, 修了式 | | |